

《高崎高校アメリカ研修 7 回目（2026 年 7 月 19 日）報告書》

本日はとても天気の良い過ごしやすい 1 日でした。日曜日のタフツ大学のカフェテリアは 11 時からオープンするため、生徒たちの荷物をまとめて 10:30 分に寮のロビー集合にしました。全員時間通りに集合、そこでスーツケースの中身や搭乗のための注意事項を説明した後ランチに行きました。30 分間タフツ大学での最後の食事でしたが、今回の研修で知り合った仲間も見送りに来てくれ、生徒たちは最後のお別れや連絡先を再度確認するなど別れを惜しんでいました。もう少しここで勉強したいという生徒も多数いました。カードキーやチャーリーチケット、ミールカードをエンバシーのスタッフに返却し、専用バスで寮を後にしました。空港に着くと空港スタッフの交渉も届かず、ハリケーンのためのフライトキャンセル、その後のオーランド行きのフライトについても、21 日の火曜日までないこと、21 日のフライトは 3 便に分かれ、最終組はオーランドに夜到着するというものでした。乗り継ぎのためにオーランドまでいくのでは時間が無駄なこと、今できる最善を考えた結果明日はニューヨーク見学研修、明後日はボストンでの班別自主研修でできなかったことなどを中心に、ボストンで有意義な時間を過ごす決断をいたしました。生徒達にも現状とこれからの予定を詳しく説明しました。今回のこと、しっかり理解していただき前向きに研修と一緒に考え作っていくことに理解してもらいました。お昼ごろ空港に到着してから、航空会社との交渉や、今できるベストの選択に約 4 時間かかりました。宿泊先は空港から 20 分の **Four Points by Sheraton Boston Newton** に決定、ホテルのバン 4 回に分かれてホテルへ荷物も持って移動しました。ホテルはシェラトン系だけあって、とても立派なホテルでした。近くにスーパーや食事ができる場所もあるため、夕食は各自でとるよう伝えました。海外旅行保険が適応できる可能性もあるため、領収書は各自もらうように伝えました。明日の朝はバスでニューヨークに行くため早く 1 日の疲れを取るため寝るように伝えました。生徒全員時間厳守など約束を守ってくれ、元気で体調不良者もなく集中して変更になった研修に参加してくれています。

本日は交渉・移動で写真を撮ることができませんでしたが明日のニューヨーク見学研修では生徒たちの元気な姿をお送りします。

土曜日に提出してもらったしおりの日記帳から “生徒の声”もお届けします。

本日 MIT を訪問し、現在第一線で活躍する研究者から直接話を伺うことができました。MIT の研究者である長野さんは日本とアメリカの現在の研究職の環境や待遇について詳しく話してくださり、また勉強などの質問についても丁寧に答えてくださいました。中でも特に私が印象に残っているお話は、あくまで勉強は手段だということです。本来、大学に入学し学問を極めるためにしているはずの勉強が、目的と化していないか今一度改めて見直す機会となりました。また長野さんは、日本人は世界各国の人と比べても決して劣っていないばかりか優れている面もあるとして、海外で活躍するという選択肢もあるといくことをわかり

やすく教えてくださいました。私は本日の研修を通して自分の進路に多大なる勇気をもらえ、また海外を視野に生きていくことの大切さに気がつくことができ、自分の将来の可能性を広げることができたように感じます。私も臆することなく海外に挑戦していきたいです。